

高井 裕之  
法学研究科・教授

**【研究】**

医事法学に関して判例評釈の執筆に取りかかったが年度内には公刊されていない。また、引き続きアメリカ憲法の動向を追う研究に力を入れたが、年度内に公表に至った論文はない。アメリカ公法の研究に関しては、資料の収集および論文の構想は熟しており、近いうちに公表できる見込みである。

**【教育】**

法学研究科博士前期課程学生1名の担任教員となり、当該学生は修士の学位を取得した。後期課程学生3名を指導したほか、同課程を前年度末に単位取得退学した学生1名が9月期に課程博士の学位を取得した。同研究科で春・夏学期に「憲法2」で英語文献を講読し学生の外国法研究の基礎の涵養に努め、秋・冬学期に「人権論」で欧米の人権思想・憲法思想の研究を指導した。法学部科目「特別講義（日本法における公法と私法の争点）」の一部(4回)を担当し英語でわが国の主要な憲法問題を解説した。全学共通教育科目としては春・夏学期に「日本国憲法」で憲法に関する一般教育を行い、秋・冬学期に「現代の医療と生命を考える」で主として法的な観点から生命倫理問題等を取り上げ検討した。高等司法研究科で春・夏学期に隔週で「公法総合演習」の授業を行い3年生の憲法に関する応用力の増進を図った。前年度に引き続き、コロナ禍のため、概してオンライン授業または対面とオンラインを併用する授業が多くなり、慣れない授業方法に苦闘し、また、かなりの授業準備時間を費やした。

**【管理運営】**

法学研究科運営委員会委員を務めた。国際公共政策研究科協力講座を担当し、同研究科の教授会に出席し、同研究科の運営に協力した。法学研究科・高等司法研究科共同の各室のうち、計画室等の室員を務めた。キャンパスライフ健康支援センター(年度途中で「キャンパスライフ健康支援・相談センター」と改名)倫理審査委員会および歯学部附属病院診療情報提供委員会それぞれの委員を務めた。

**【社会貢献】**

日本医事法学会第18回役員選挙選挙管理委員会委員長を務め、同学会の理事・監事の選挙の実施に従事した。